

D r o n e D e p l o y の使い方
簡易ガイド③（暫定）

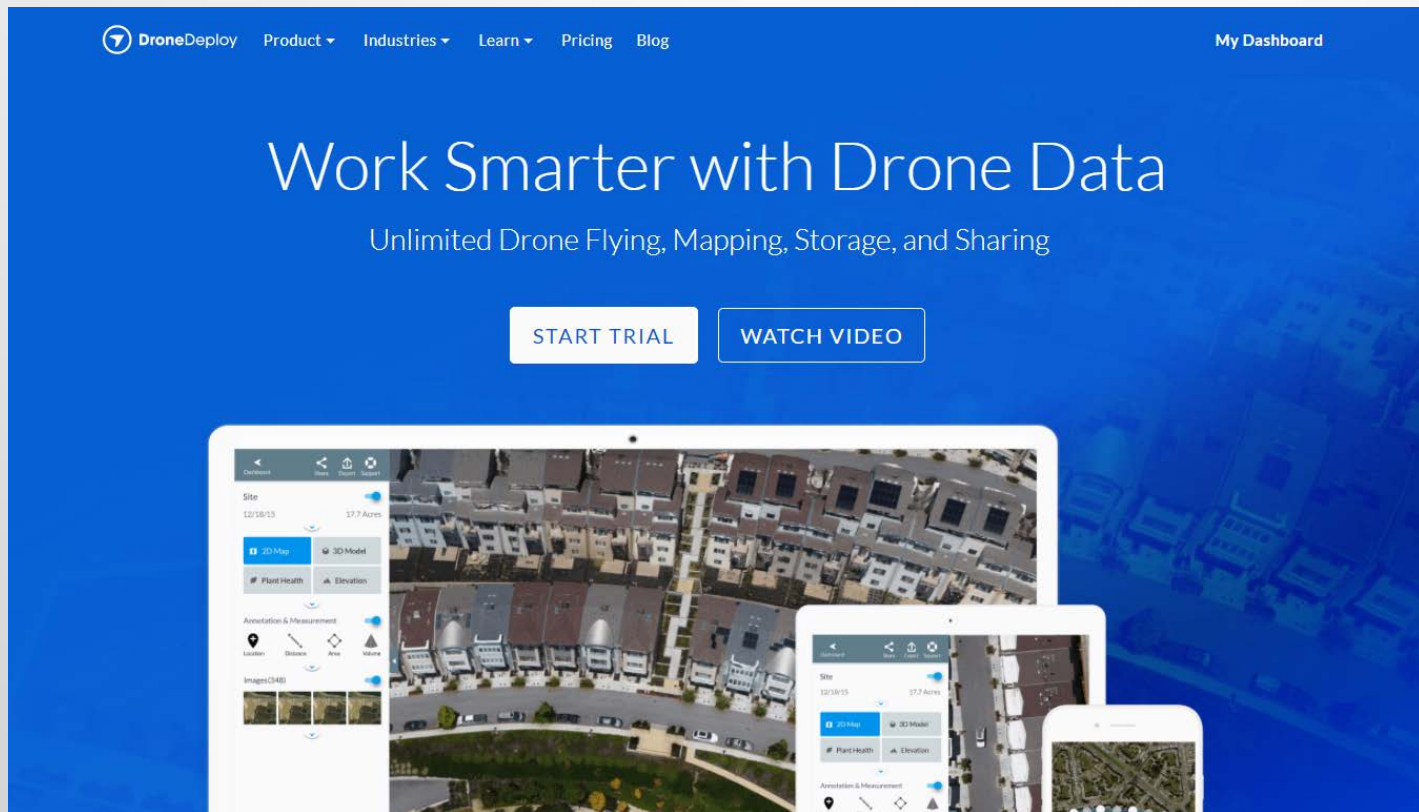
2020年5月9日

名古屋守山ドローンスクール

DroneDeployについて

- DroneDeploy社のビジネスモデルは写真データ処理を行うクラウドサービスの提供ですが、DJIドローンの自動飛行アプリを無料で提供し、データ処理のトライアルユーザの提供を経てクラウドサービスのユーザー獲得するマーケティング手法です。（2週間、10回迄）
- データ処理の対象も、業務用としては建設、農業、鉱業、各種調査等のマップや3D構造物データと広い範囲に亘りますが、最近ではGS-PROに対抗する為に多様な自動飛行のメニューを加えています。
- 本資料は名古屋守山ドローンスクールで行う操縦技能の受講者に対する受講前の予備知識と受講後のレビューの為に作成した資料です。
- 今年初頭に画面デザインが大幅に変更されたことに対応致しました。

PCでDroneDeployのTRIAL開始



DroneDeploy Product Industries Learn Pricing Blog My Dashboard

Work Smarter with Drone Data

Unlimited Drone Flying, Mapping, Storage, and Sharing

START TRIAL WATCH VIDEO

Site: 12/18/15 17.7 Acres

2D Map 3D Model

Plant Health Elevation

Annotation & Measurement

Location Distance Area Volume

Images (243)

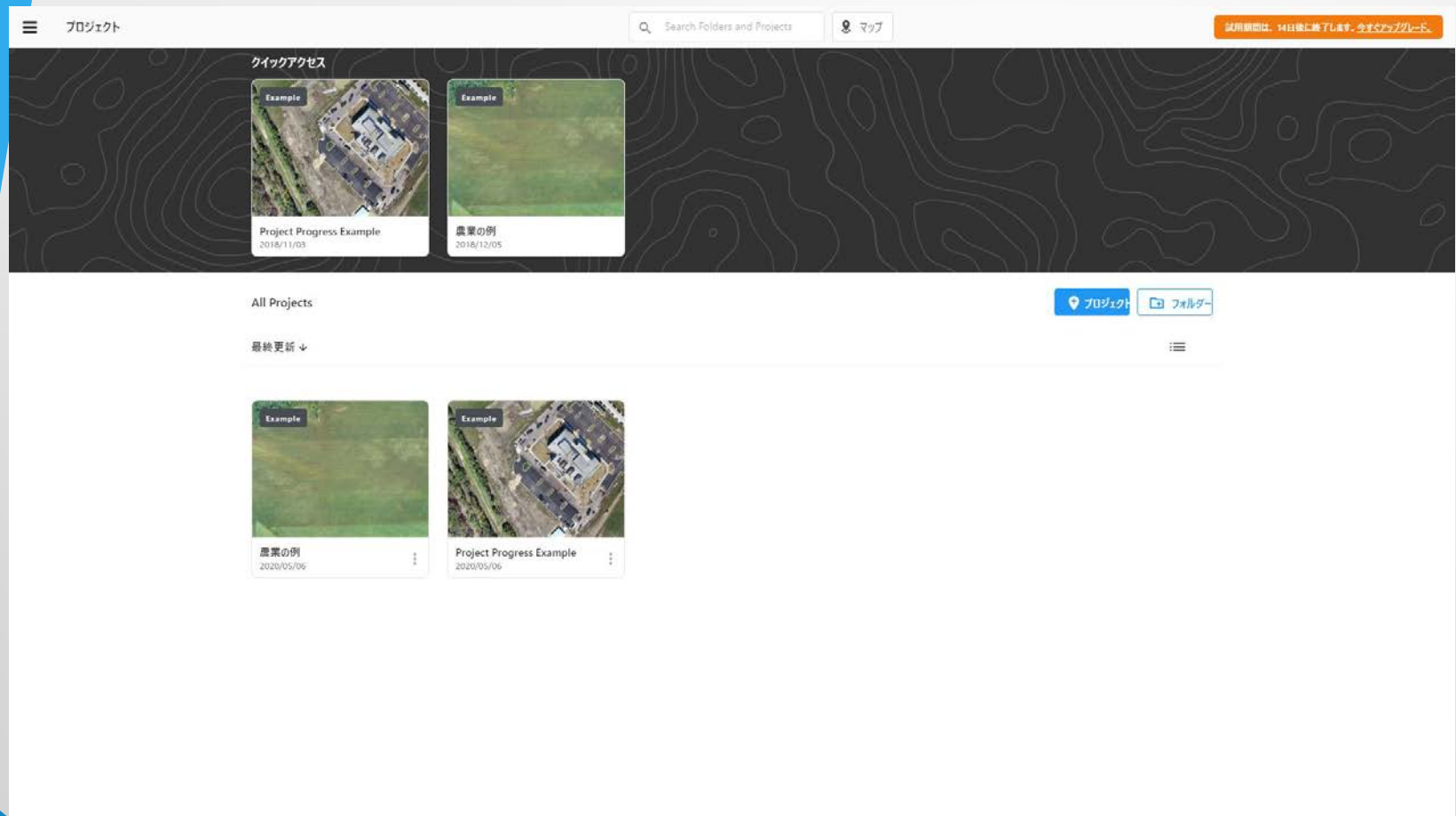
飛行計画やデータ管理は主にPCで行う。

iPadにアプリをインストール



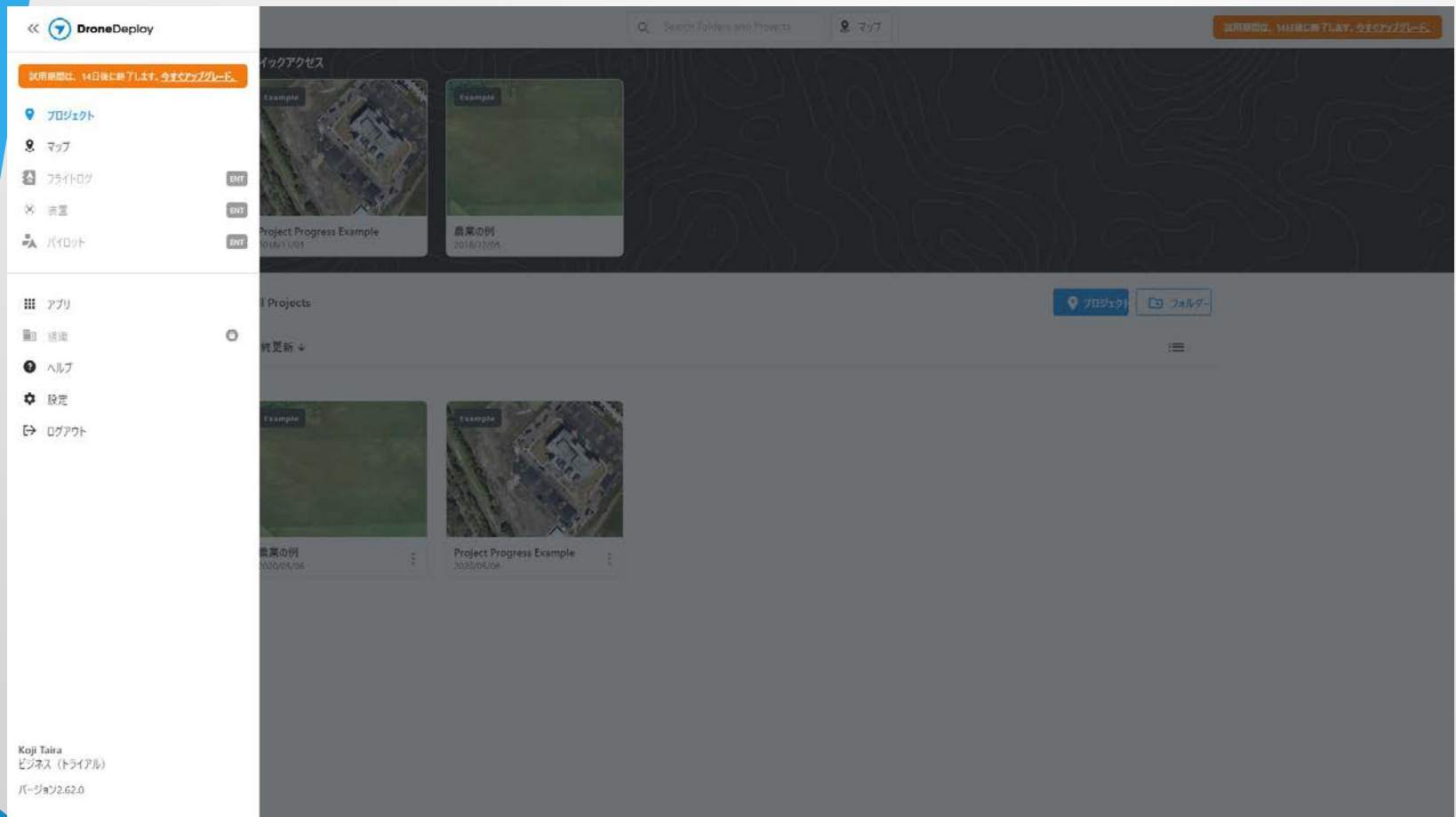
iPad等タブレットでも会員登録は出来る。フライト時はプロポに接続したiPadを操作する。

PCで飛行計画を作成 1



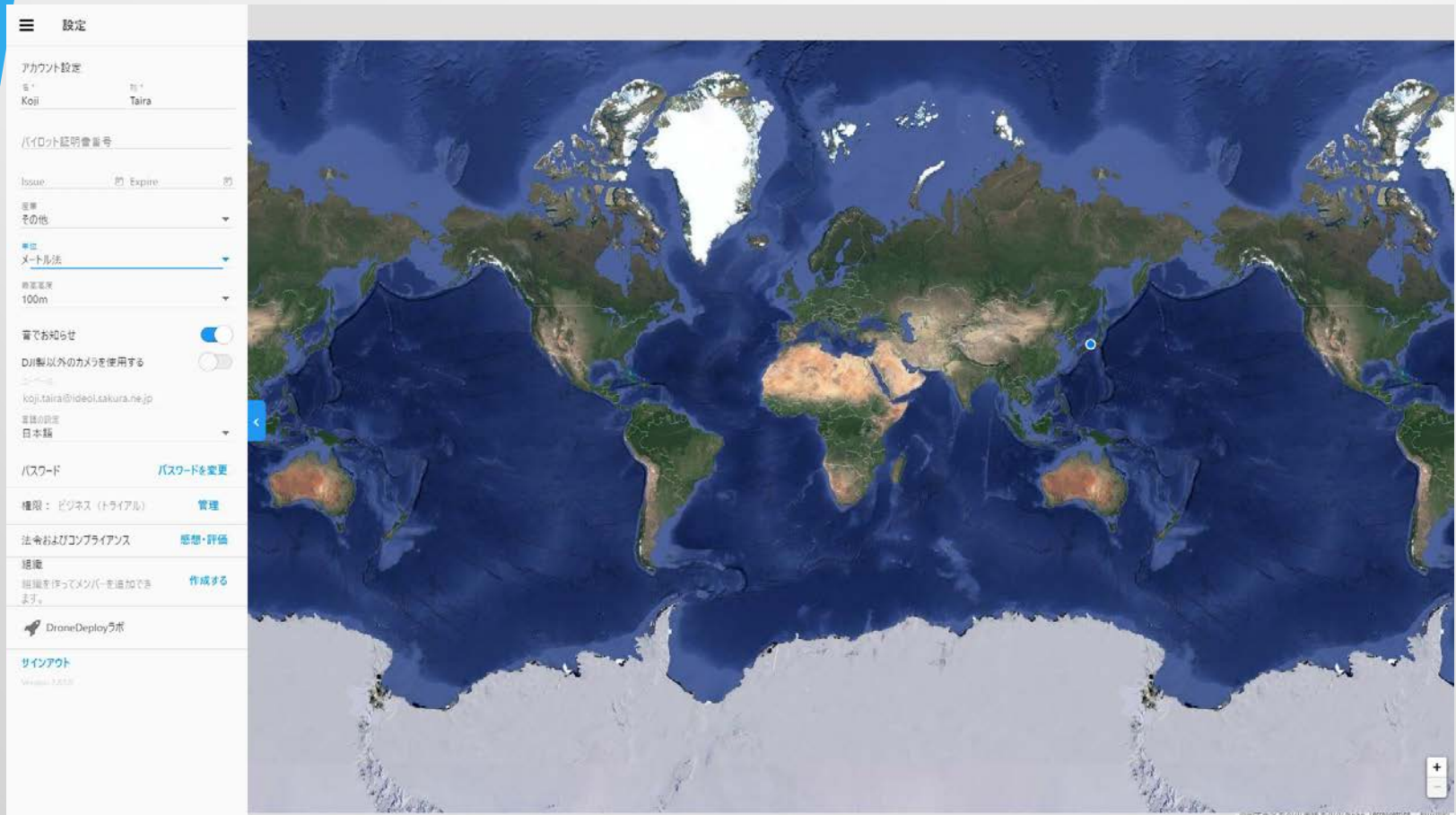
PCの初期ログイン画面。（米国サンプルプロジェクトが2つ）
「左上の三本線」をクリックする。

PCで飛行計画を作成 2



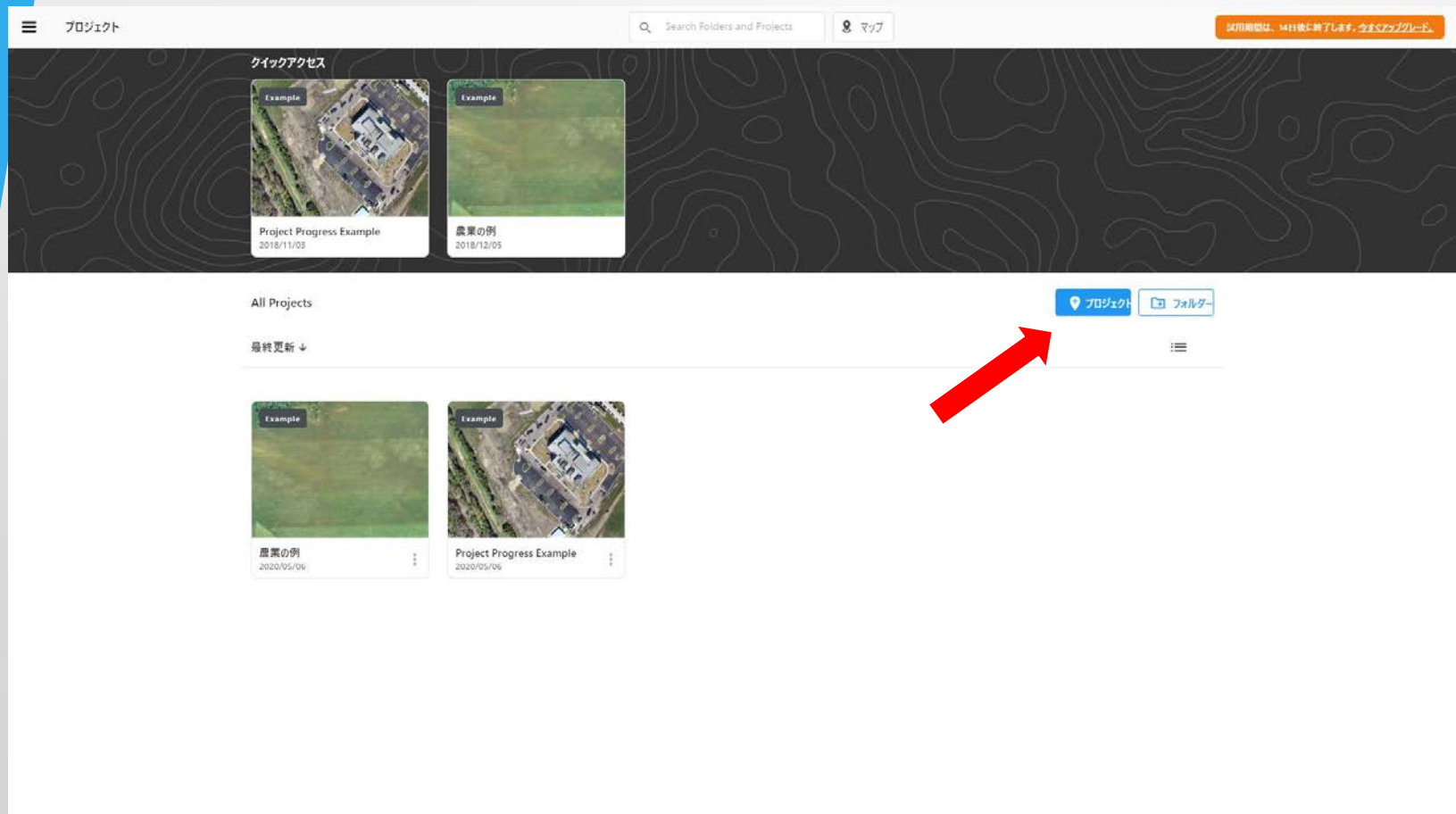
左端にメニューが表示されるので、設定をクリックする。

PCで飛行計画を作成 3



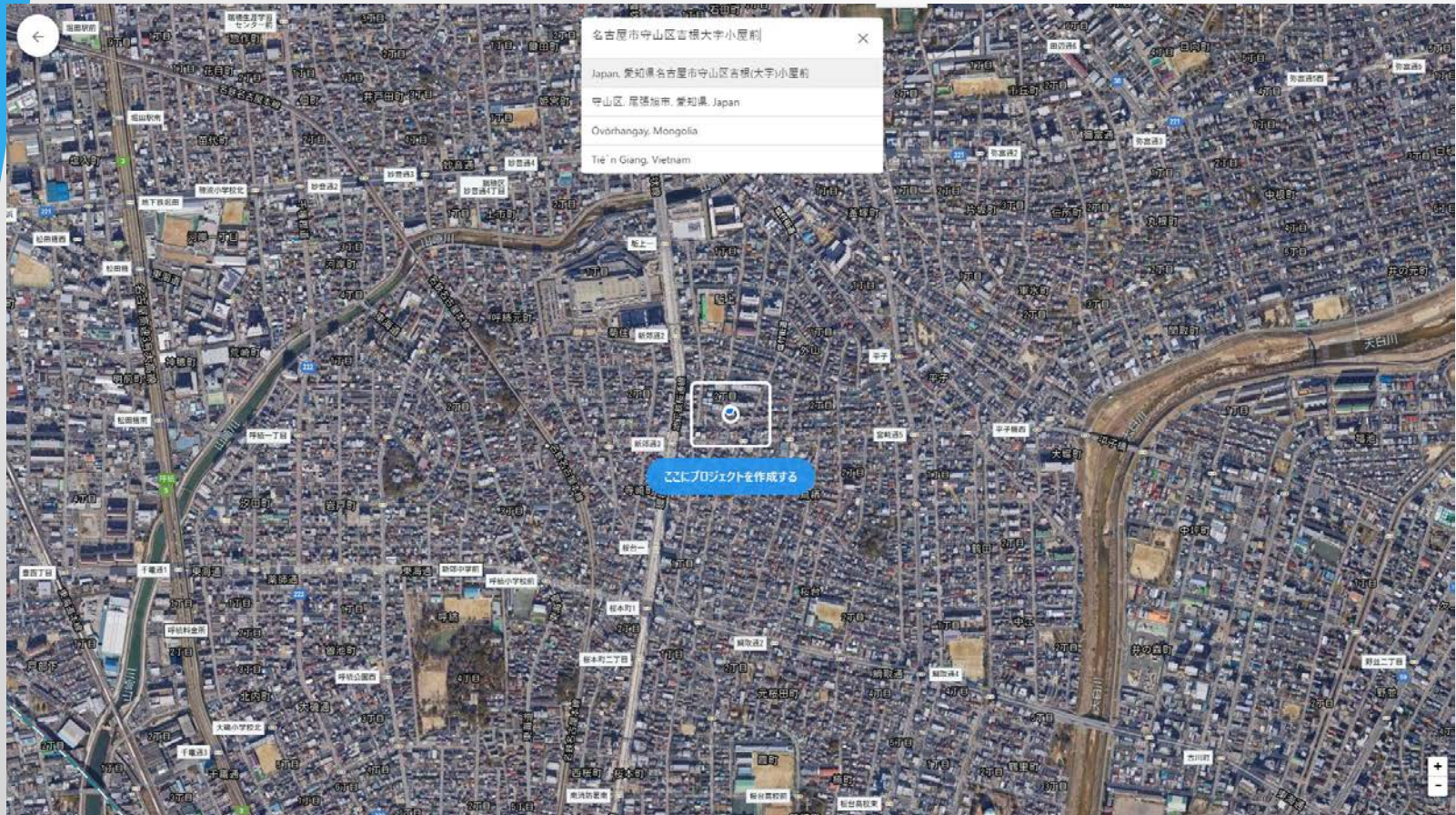
アカウント名入力、メートル法、日本語の選定設定を行う。

PCで飛行計画を作成4



初期画面の「プロジェクト」タグをクリックして飛行計画作成を開始。

PCで飛行計画を作成 5



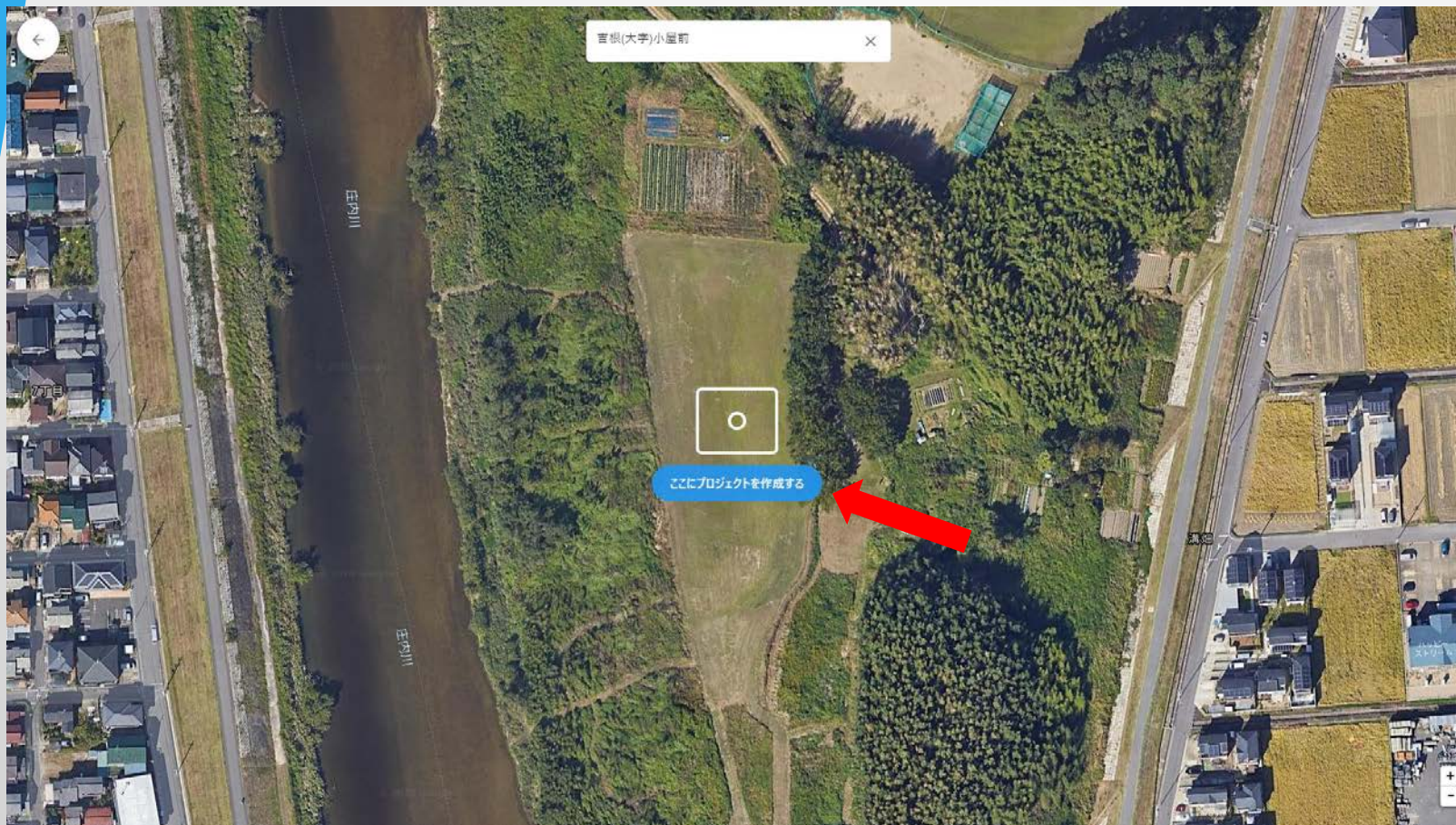
日本語で住所を入力してプルダウンから該当住所を選ぶ。

PCで飛行計画を作成 6



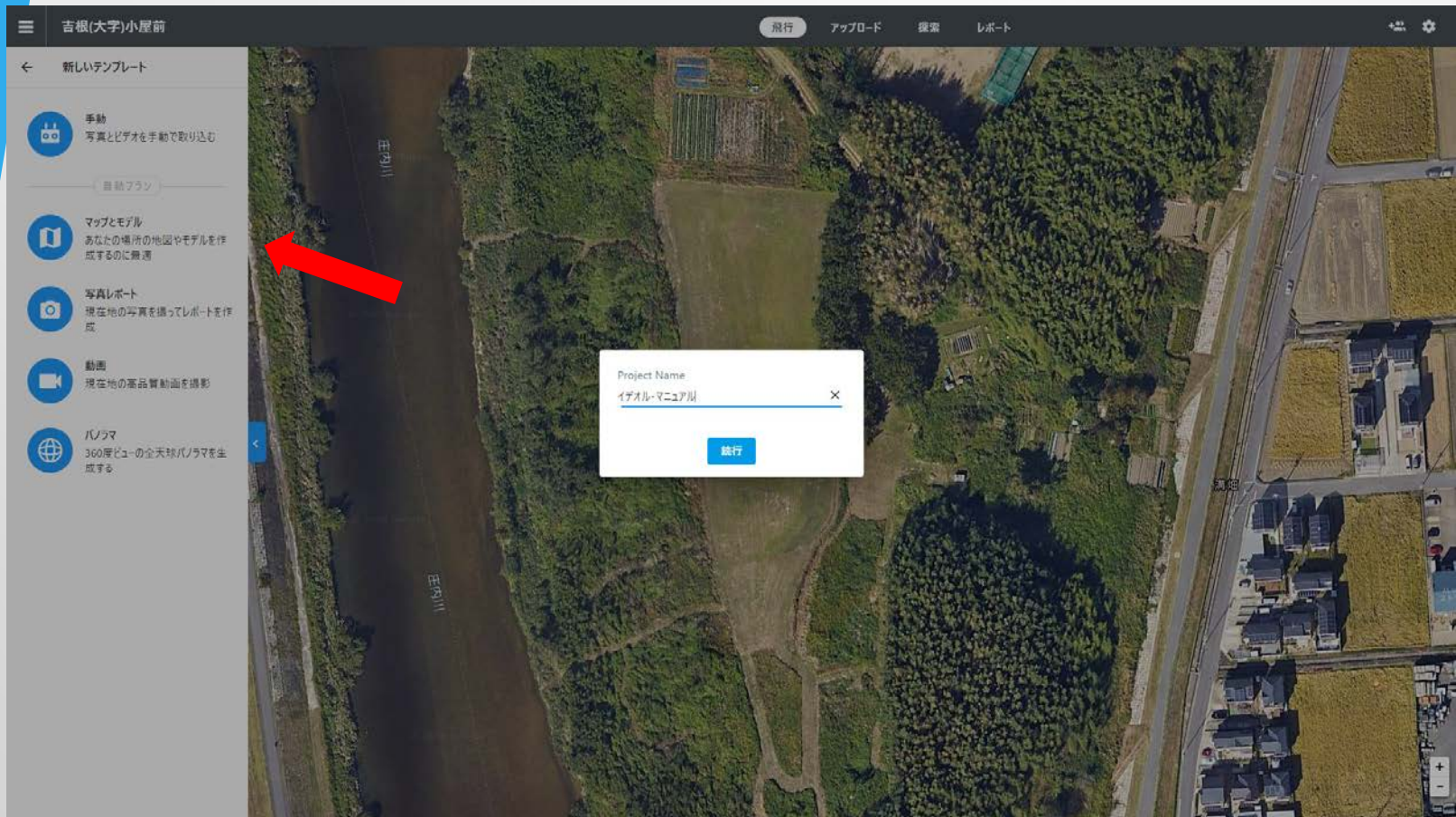
住所の場所に画面が移動するので場所を微調整し、右下の＋マークで大きさを調整する。

PCで飛行計画を作成 7



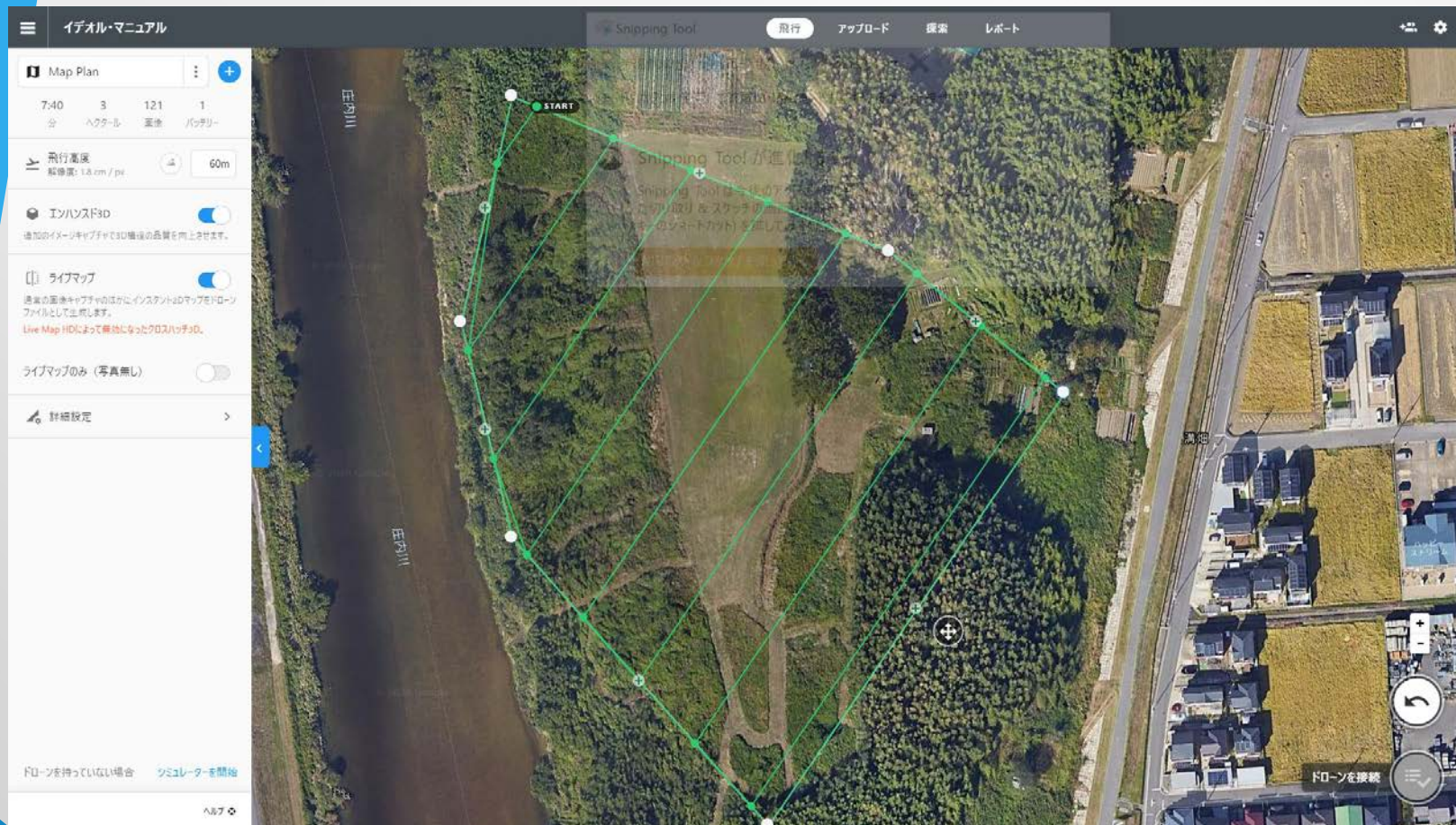
場所と大きさを調整が終わったら「ここにプロジェクトを作成する」タグをクリックする。

PCで飛行計画を作成 8



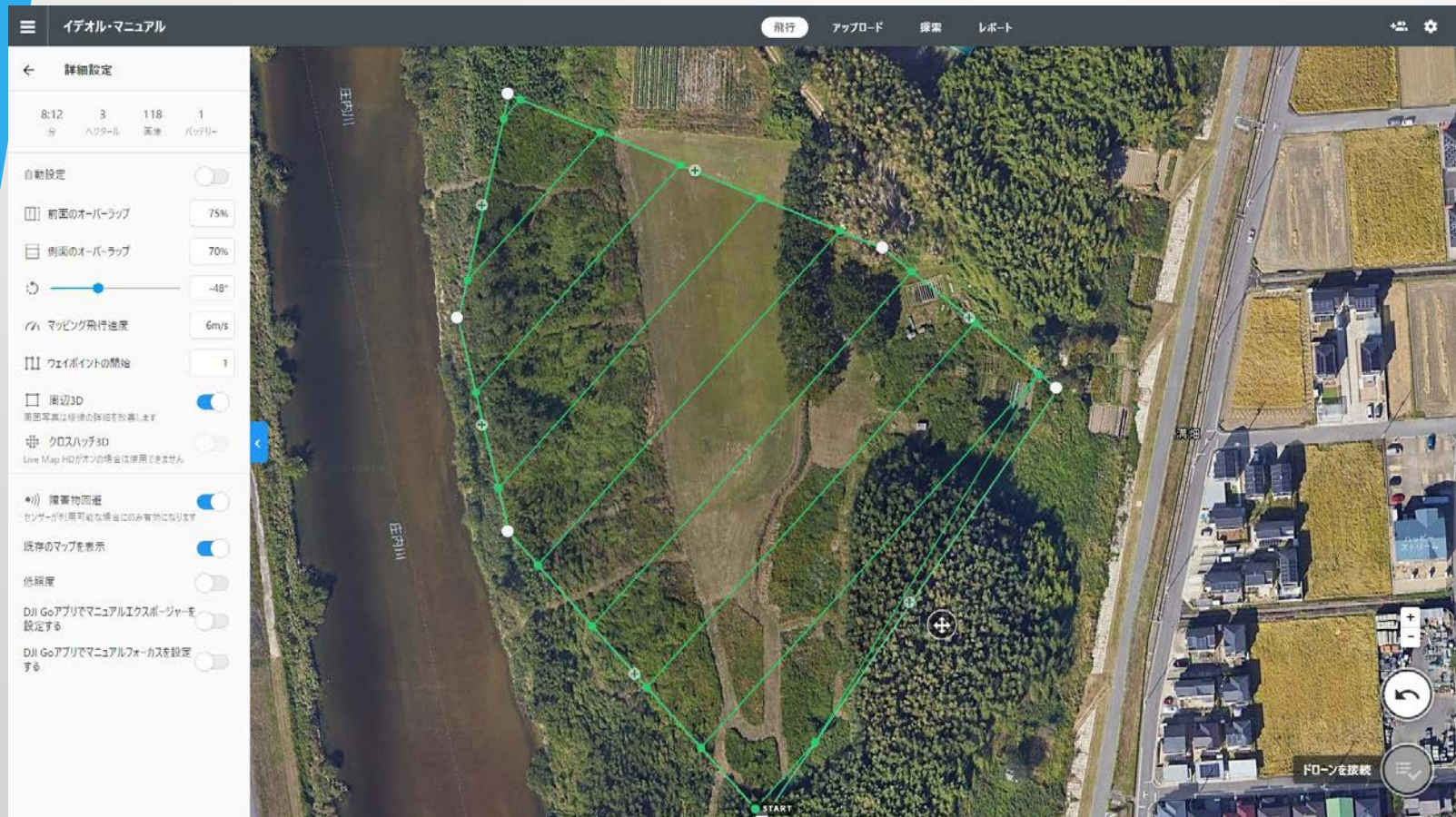
プロジェクト名を入力後に「マップとモデル」をクリックして選択する。

PCで飛行計画を作成 9



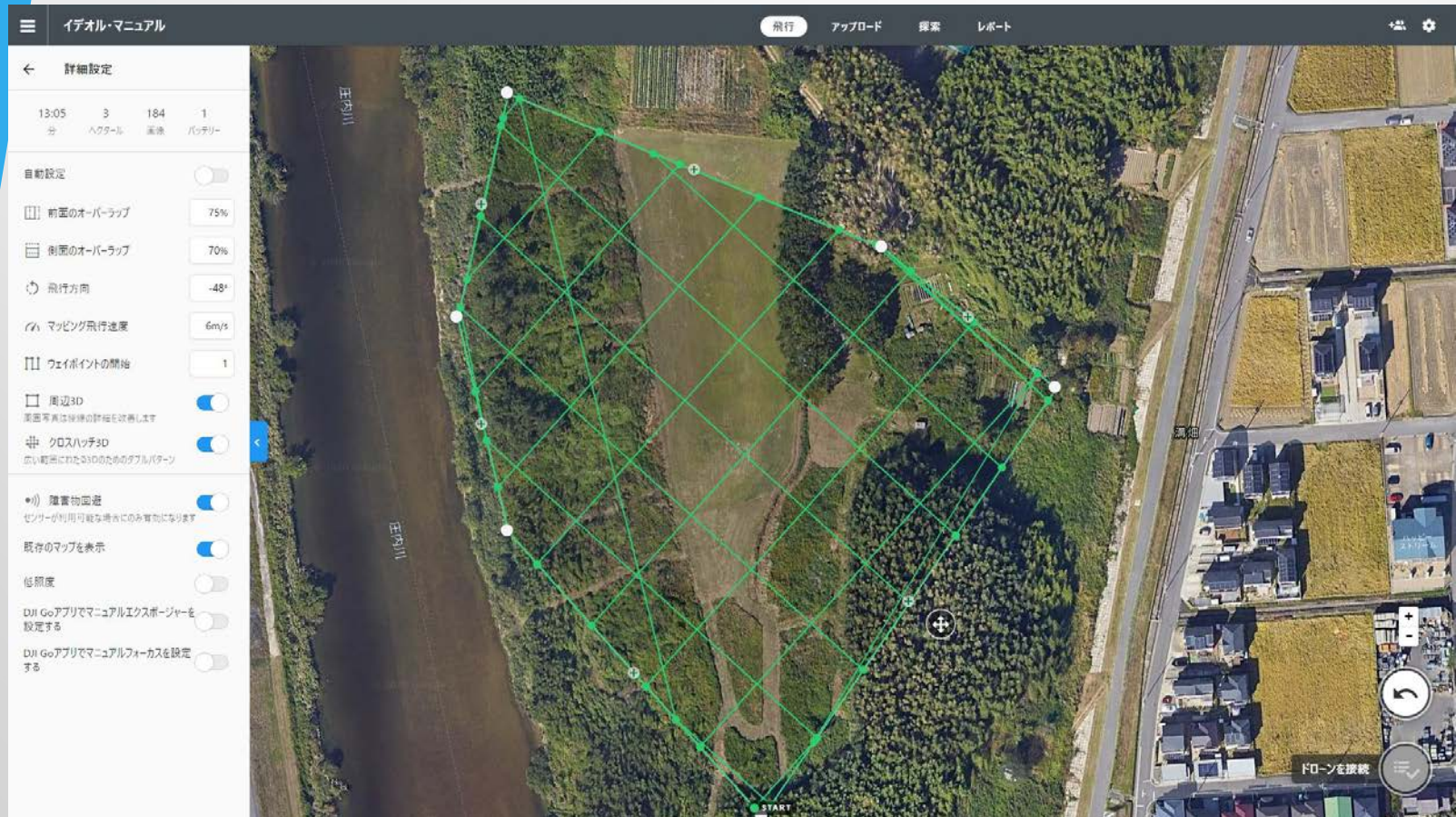
暫定的に表れる正方形のエリアの四つ角と辺の真ん中をドラッグしてエリアを設定する。

PCで飛行計画を作成 10



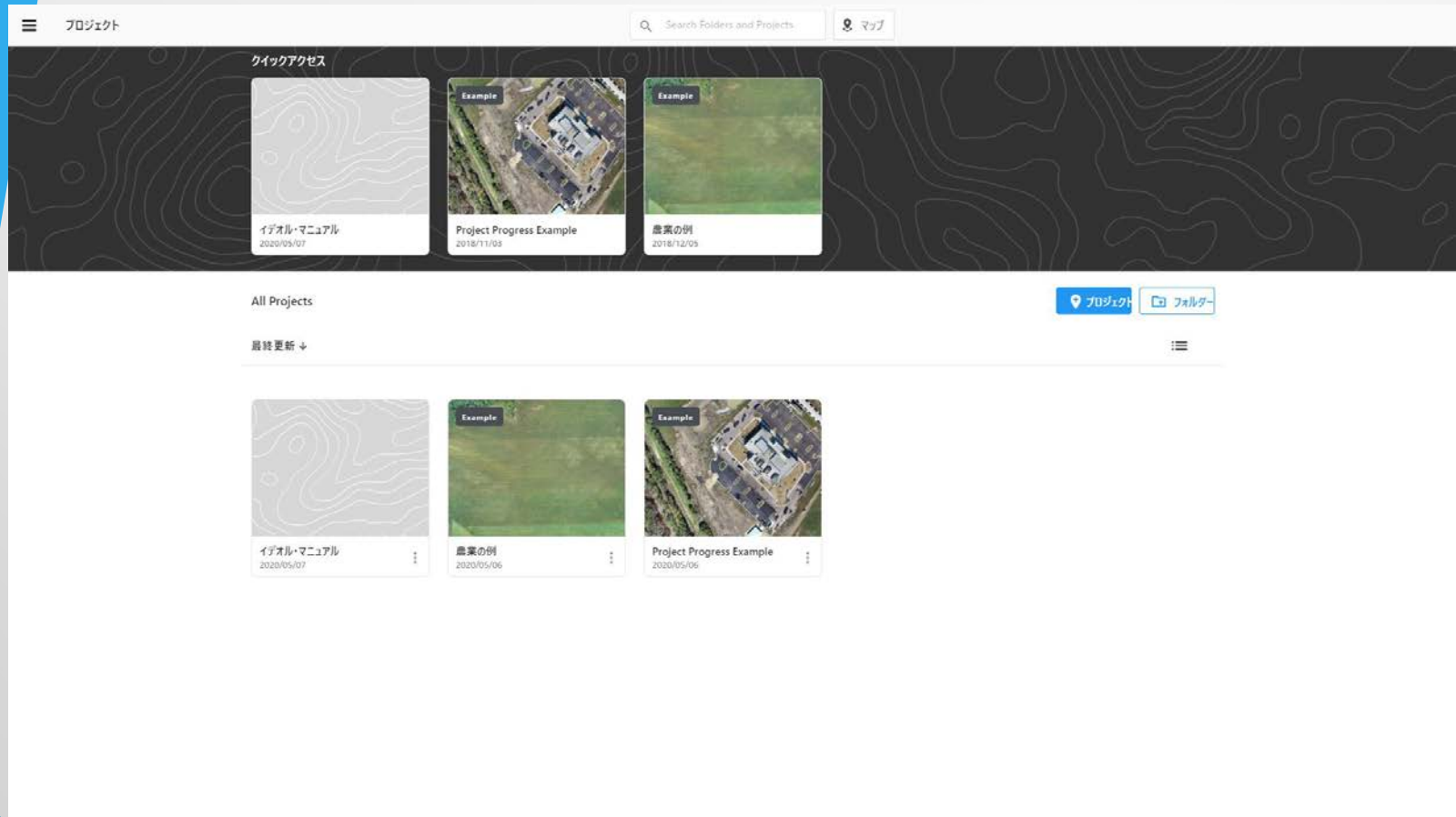
詳細設定をクリックして、自動設定を外し、飛行する方向やスタート地点等を変更出来る。ライブマップを前画面で選択しているとクロスハッチ3Dは選択出来ない。

PCで飛行計画を作成 1 1



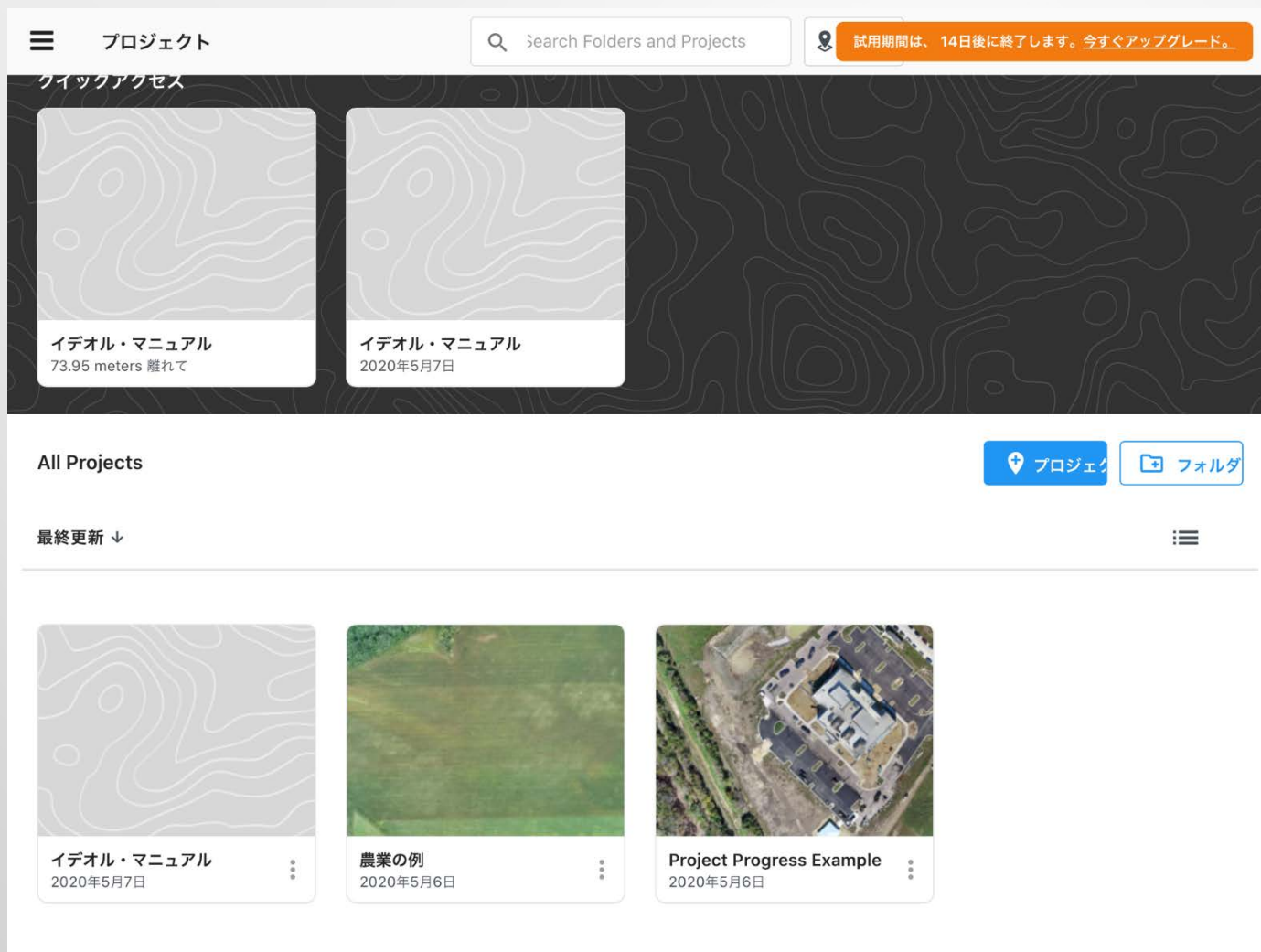
ライブマップを前画面で外せばクロスハッチ3Dが選択出来る。

PCで飛行計画を作成 1 2



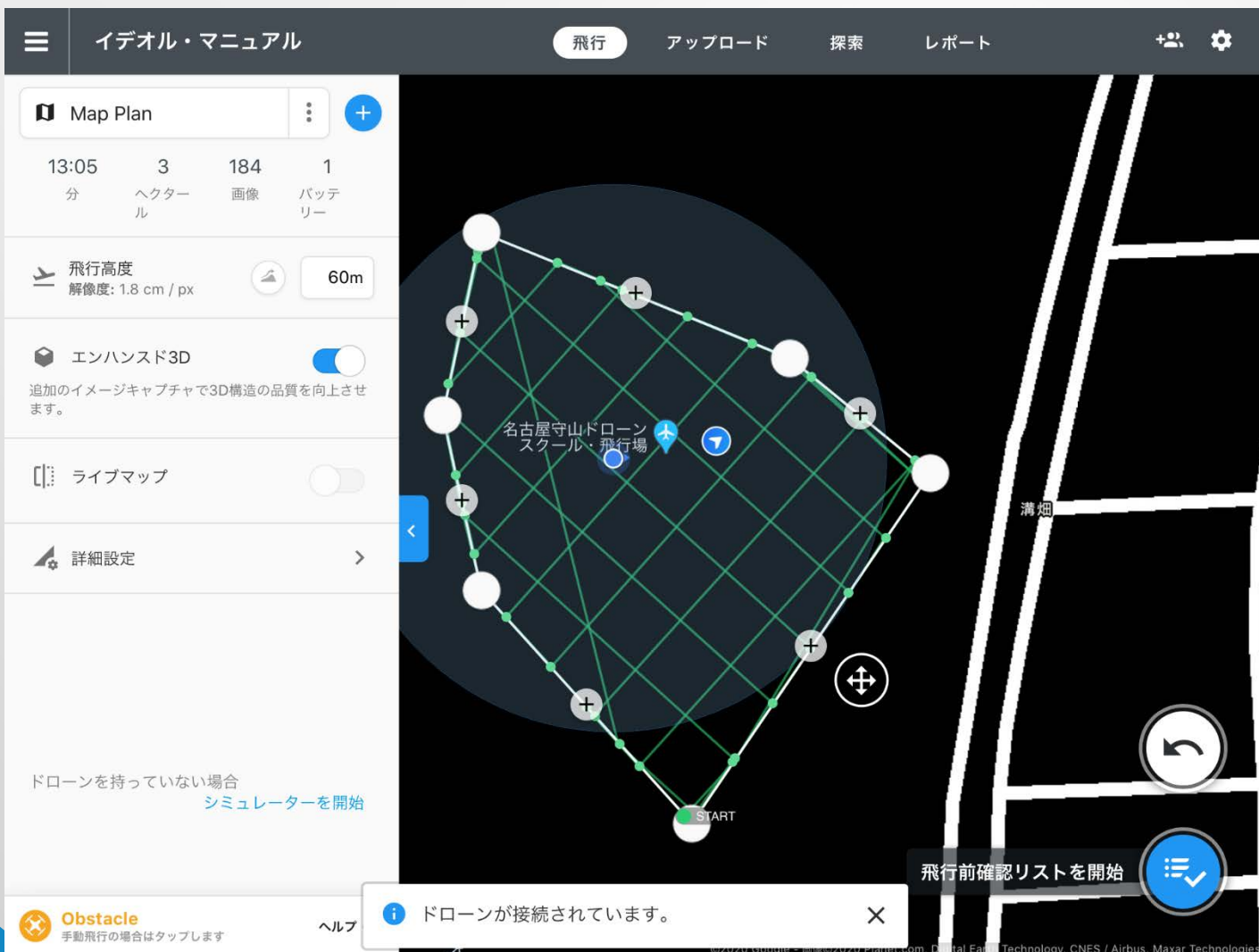
プロジェクト画面に戻るとフライト前の飛行計画が表示されている。

iPadで自動飛行を実施 1



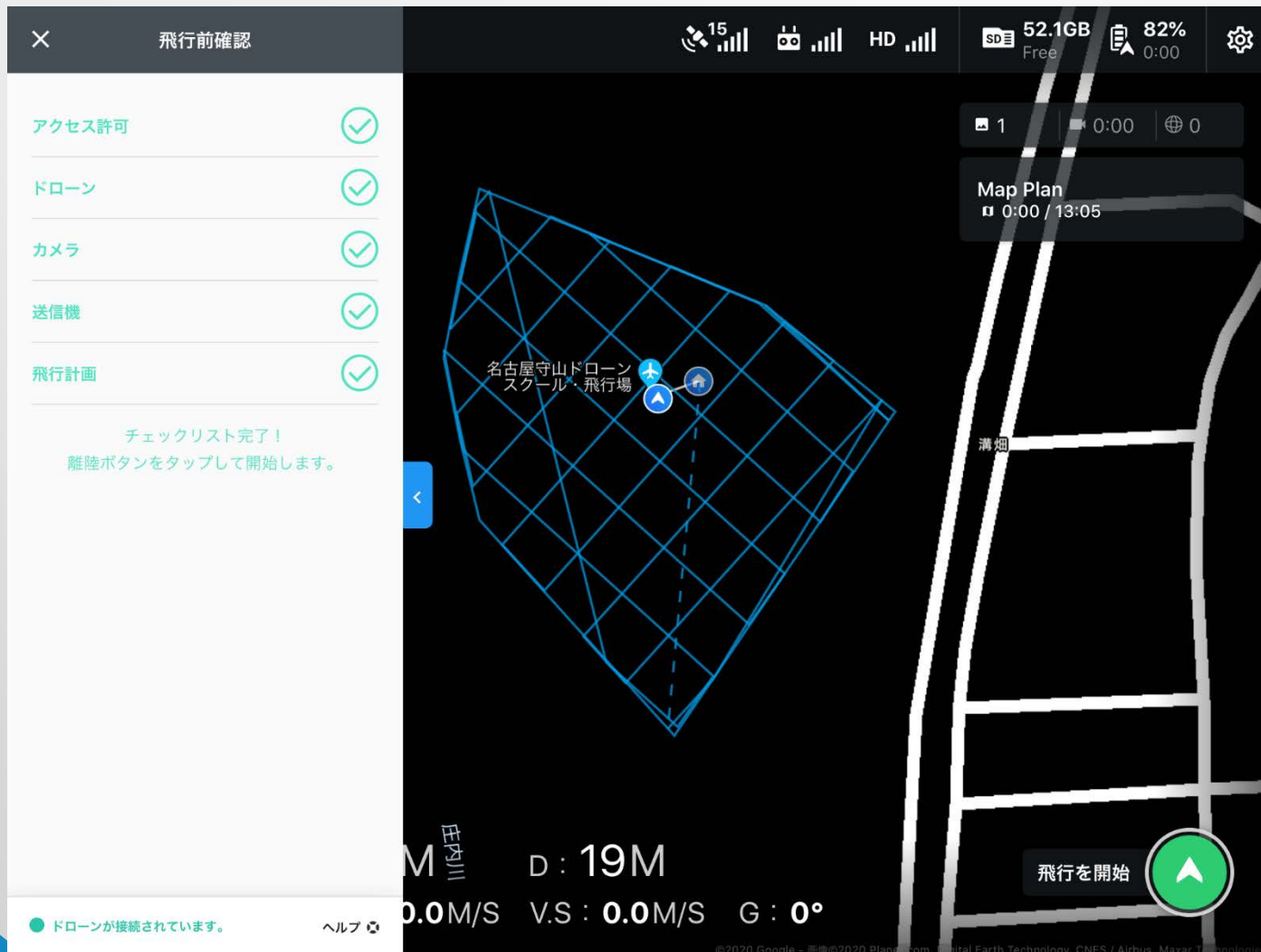
iPad上にも作成済の飛行計画が表示される。作成した「イデオル・マニュアル」をタップする。

iPadで自動飛行を実施2



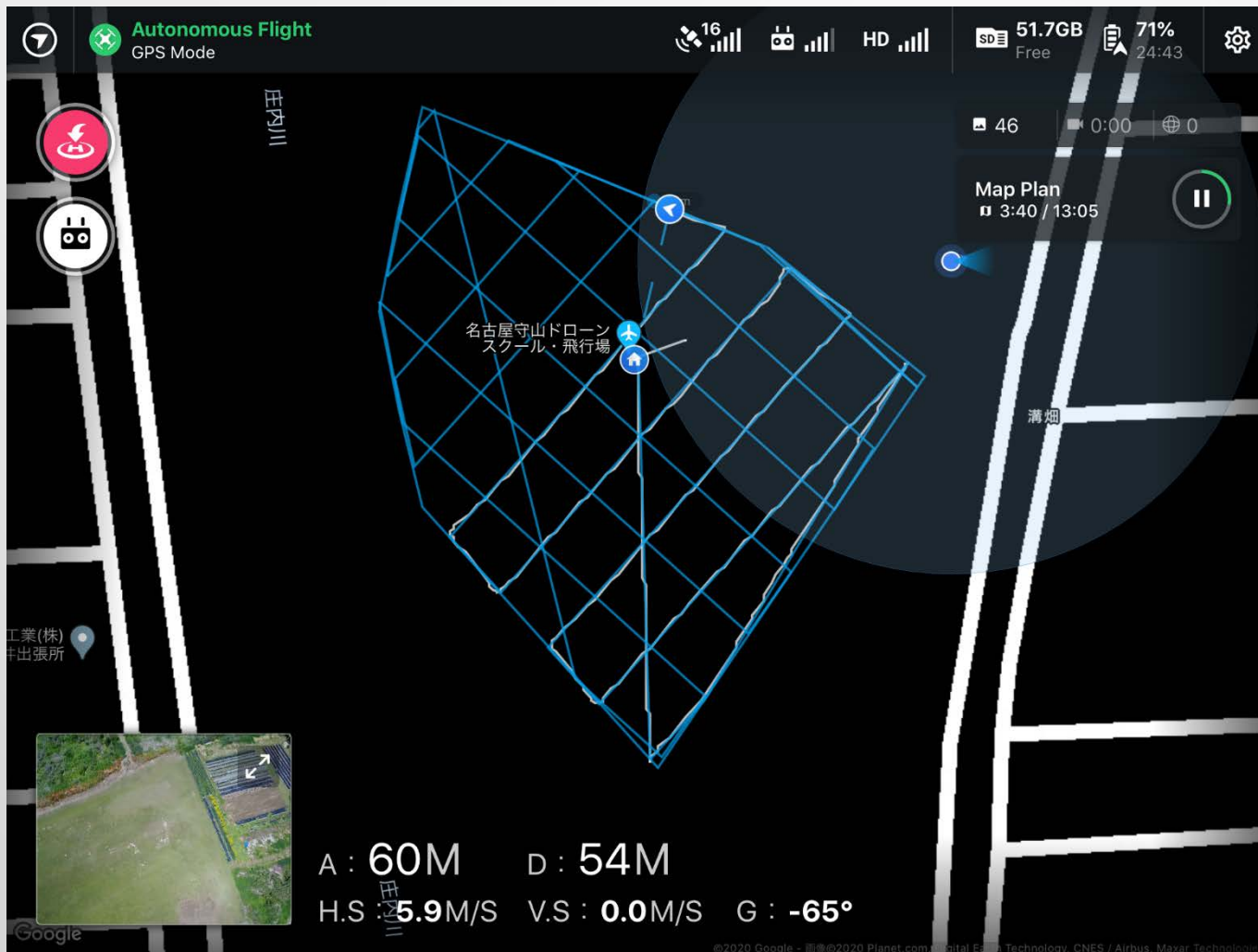
ドローンを起動させて、iPadと接続させ、チェックマークをタップすると、飛行可否を自動判定。

iPadで自動飛行を実施3



チェックリストが全てクリアされると緑色となった飛行開始マークをタップする。

iPadで自動飛行を実施4



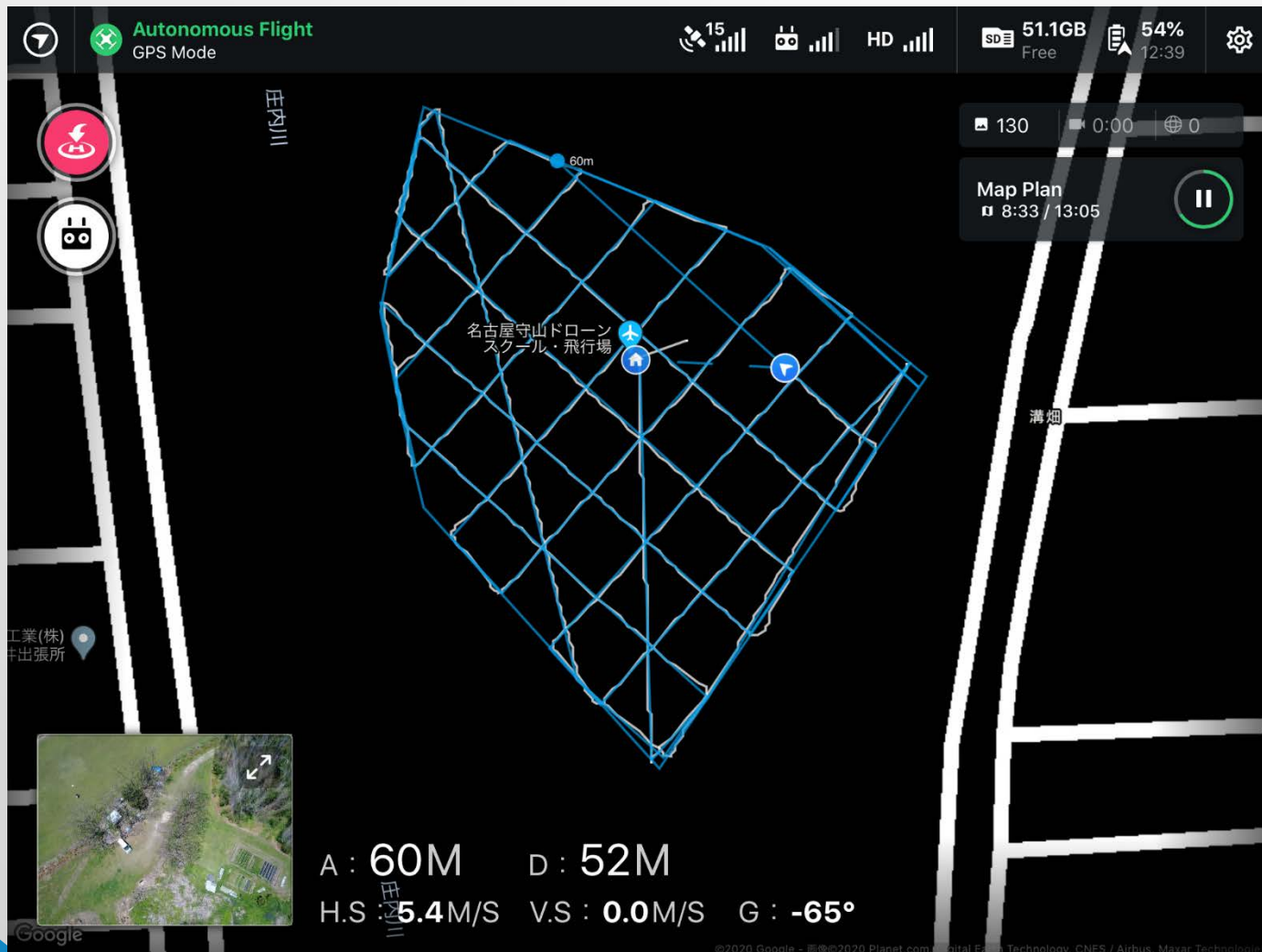
ドローンが自動的に離陸して飛行高度迄上昇した後にスタート地点に飛んだ後にカメラを真下に向けて撮影開始。

iPadで自動飛行を実施5



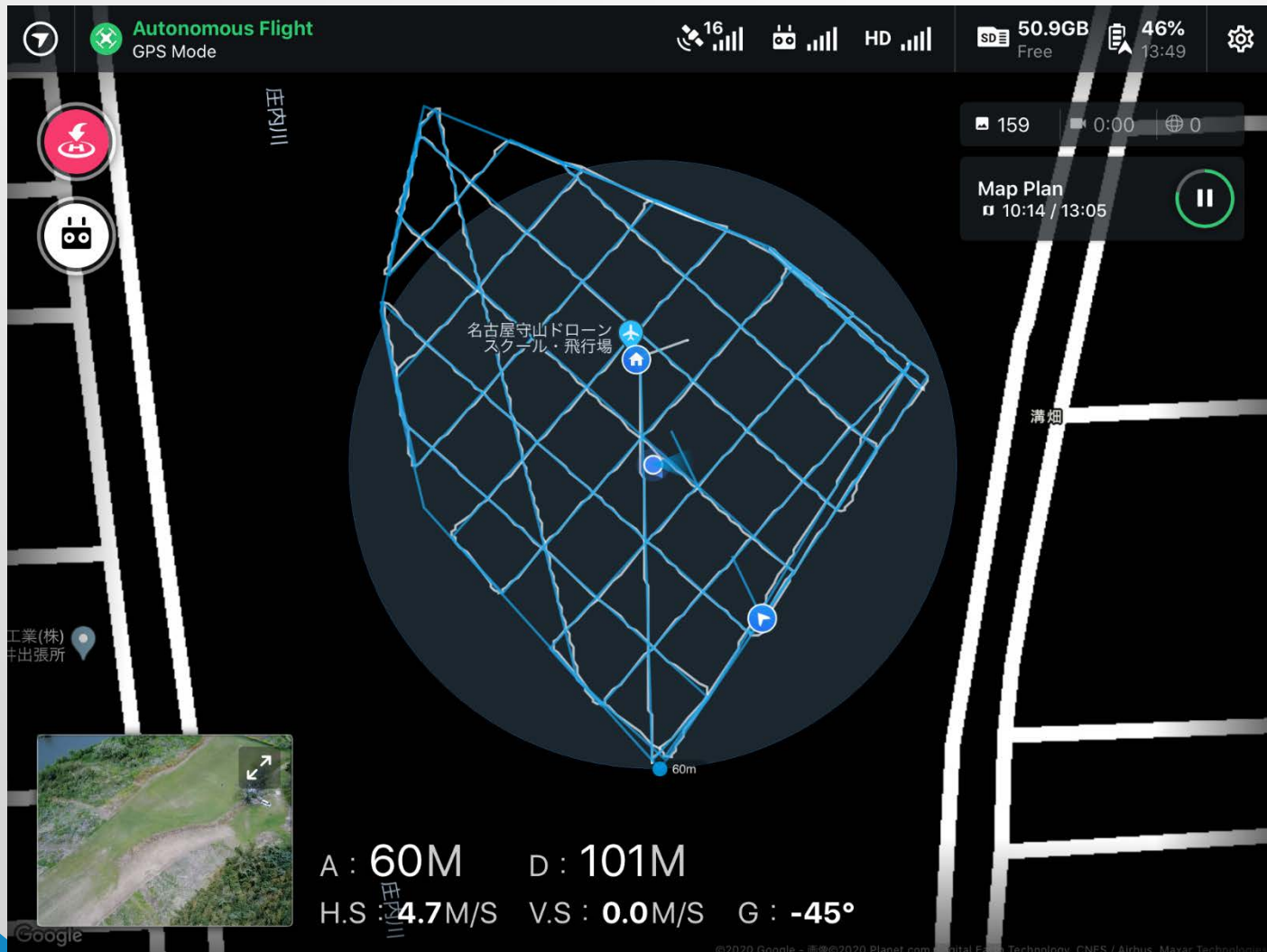
左下のウィンドウをタップしてリアルタイムのビデオが
画像と飛行実施ルート図の表示切替が可能。

iPadで自動飛行を実施6



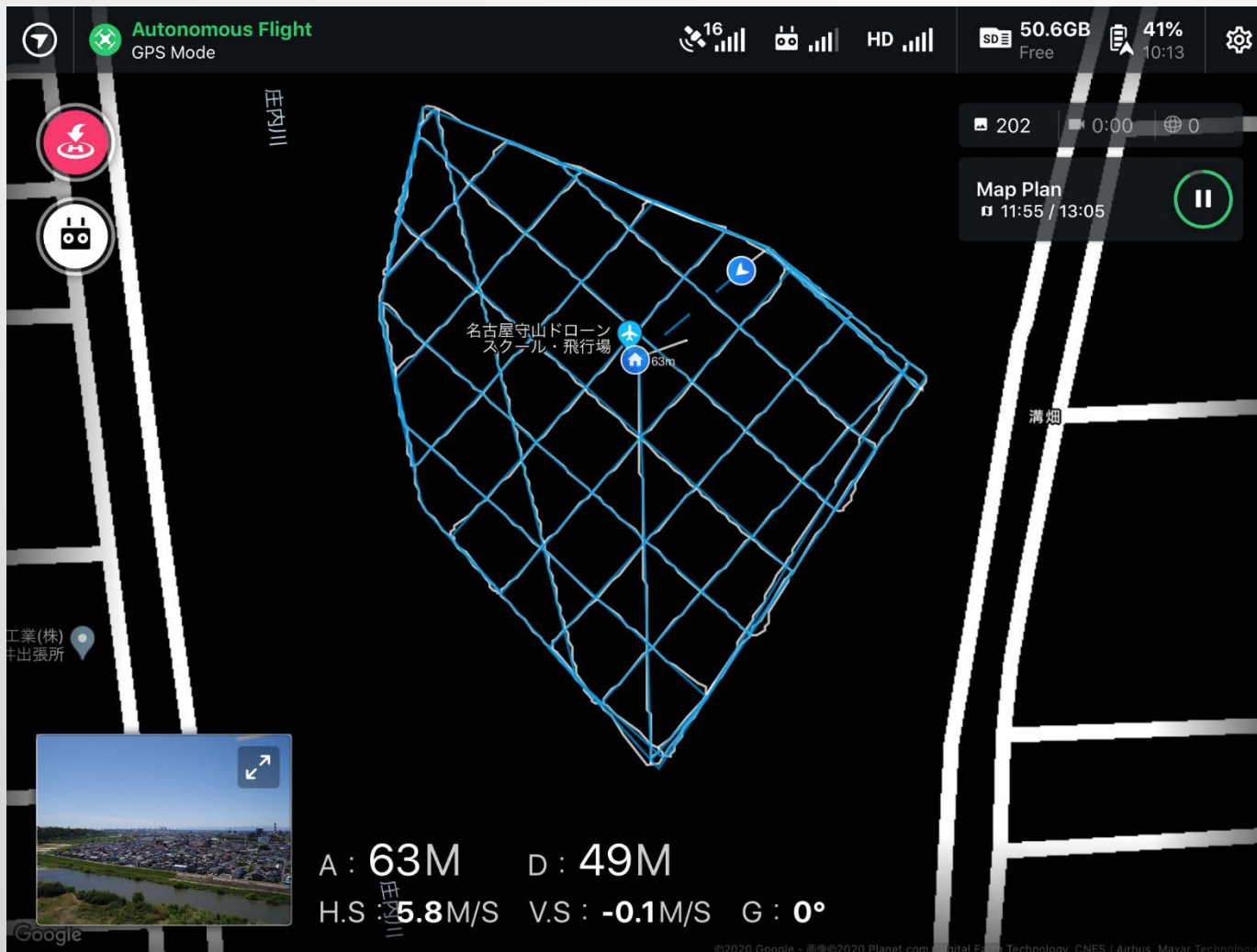
クロスハッチ3Dでは、クロスする方向での撮影も行います。

iPadで自動飛行を実施7



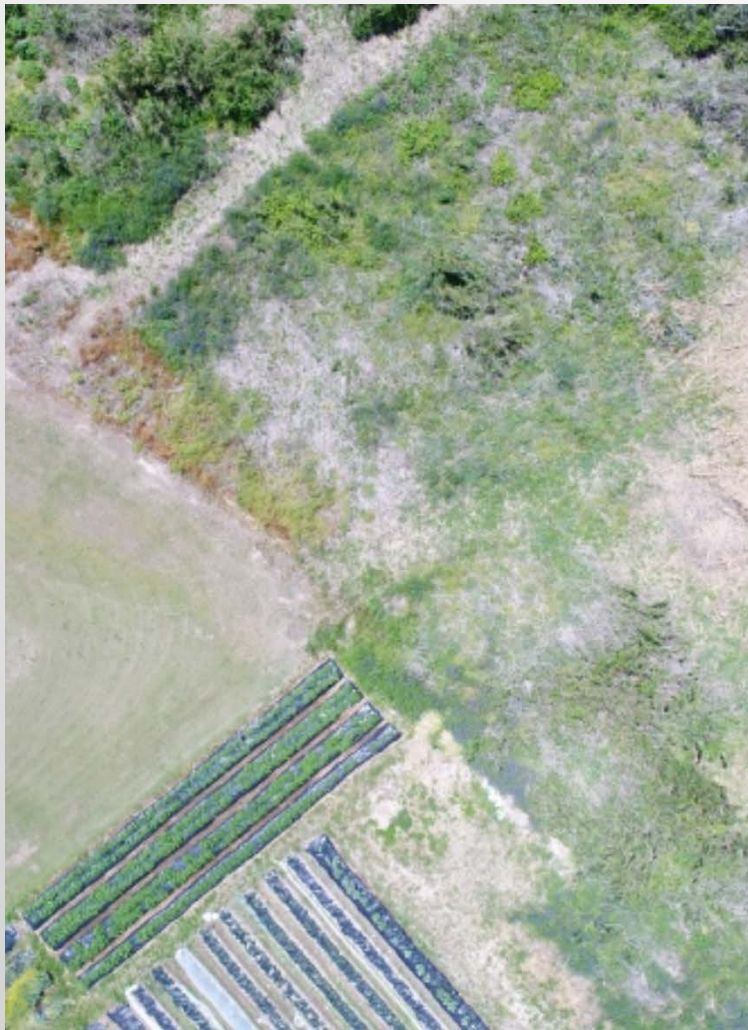
クロス方向での撮影が終わるとエリア周りを飛行しながら内側に向けて斜め下の画像を撮ります。

iPadで自動飛行を実施 8



計画された撮影が終わるとドローンは離陸地点上空に移動してその後高度を下げて自動的に着陸します。

iPadで自動飛行を実施 9



キャプチャーされた 112 画像

今すぐアップロード
812 MB (5-20 分)

ドローンの電源を入れたままにしておく、画像をワイヤレスで転送してDroneDeployにアップロードできます。

ご注意: 携帯電話でのアップロードでは、大量のデータを使用する場合があります。

もしくは

後でアップロード

DroneDeploy.comにアクセスし、ドローンのSDカードから画像をアップロードしてください。

「今すぐアップロード」ではドローンからiPadに取得画像をドローンからダウンロードし同時にサーバにアップロード。

iPadで自動飛行を実施 10



画像を処理してマップを作成
する

ドローンのSDカードをMacまたはPCに接続
し,DroneDeploy.comにログインしてそこに画像を
アップロードしてください。

OK

「後でアップロード」では、PCでアップロードする
イメージ図が表示される。

iPadで画像をアップロード 1



2つのステップのうち最初のステップ

転送 3 の 112 ドローンの画像



ドローンとコントローラーの電源を入れたままにしておいてください。

後でSDカード経由でアップロードしたいですか？

[転送をキャンセル](#)

「今すぐアップロード」でドローンからiPadに画像データの伝送を表示。

iPadで画像をアップロード2



2つのステップのうちの2つ目のステップ
アップロード中 4 の 112 画像をクラウドに

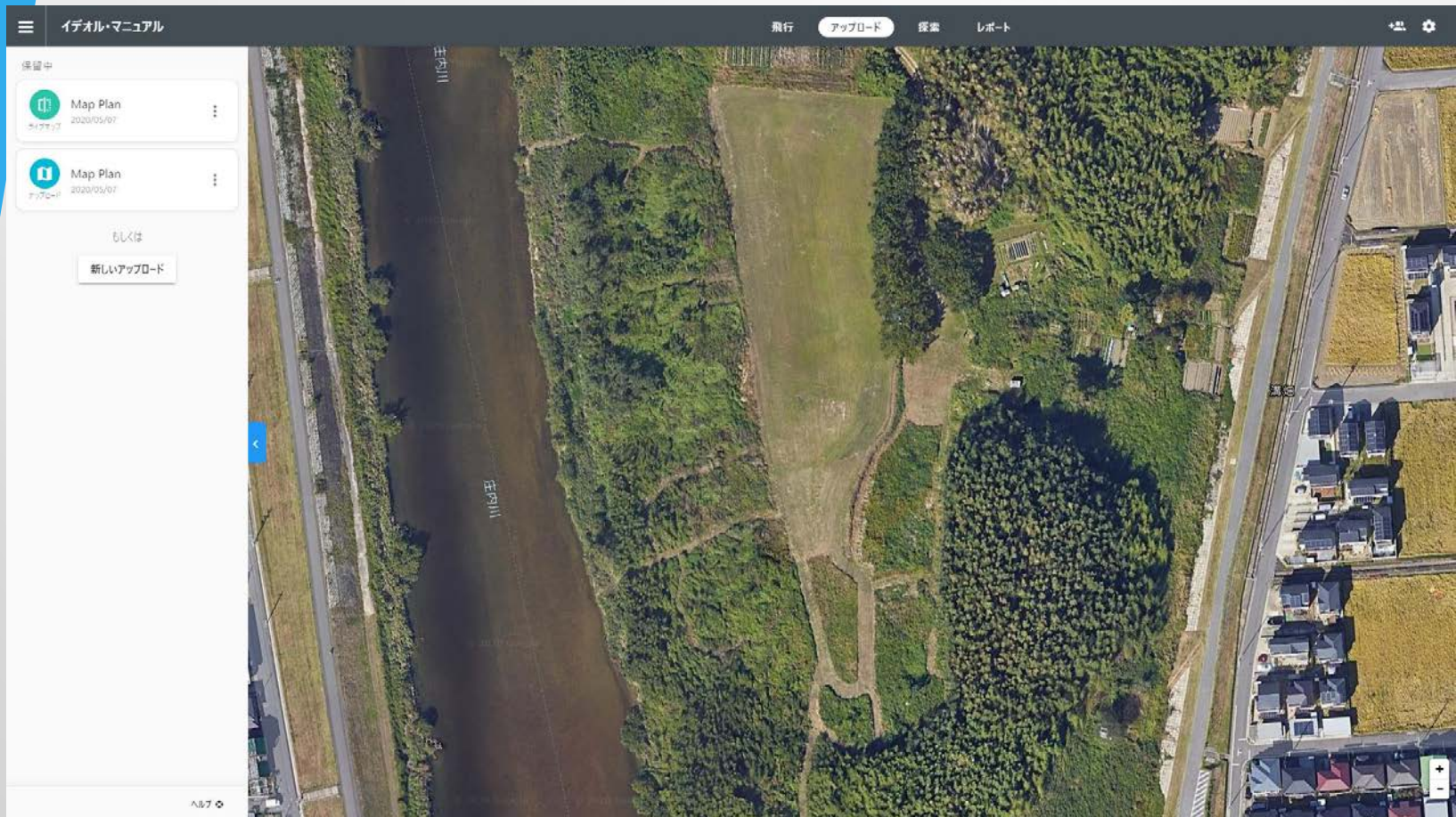


ドローンは安全に電源を切ることができます。アプリを開いたままにしてください。

急いでいますか？ [Cancel upload](#)

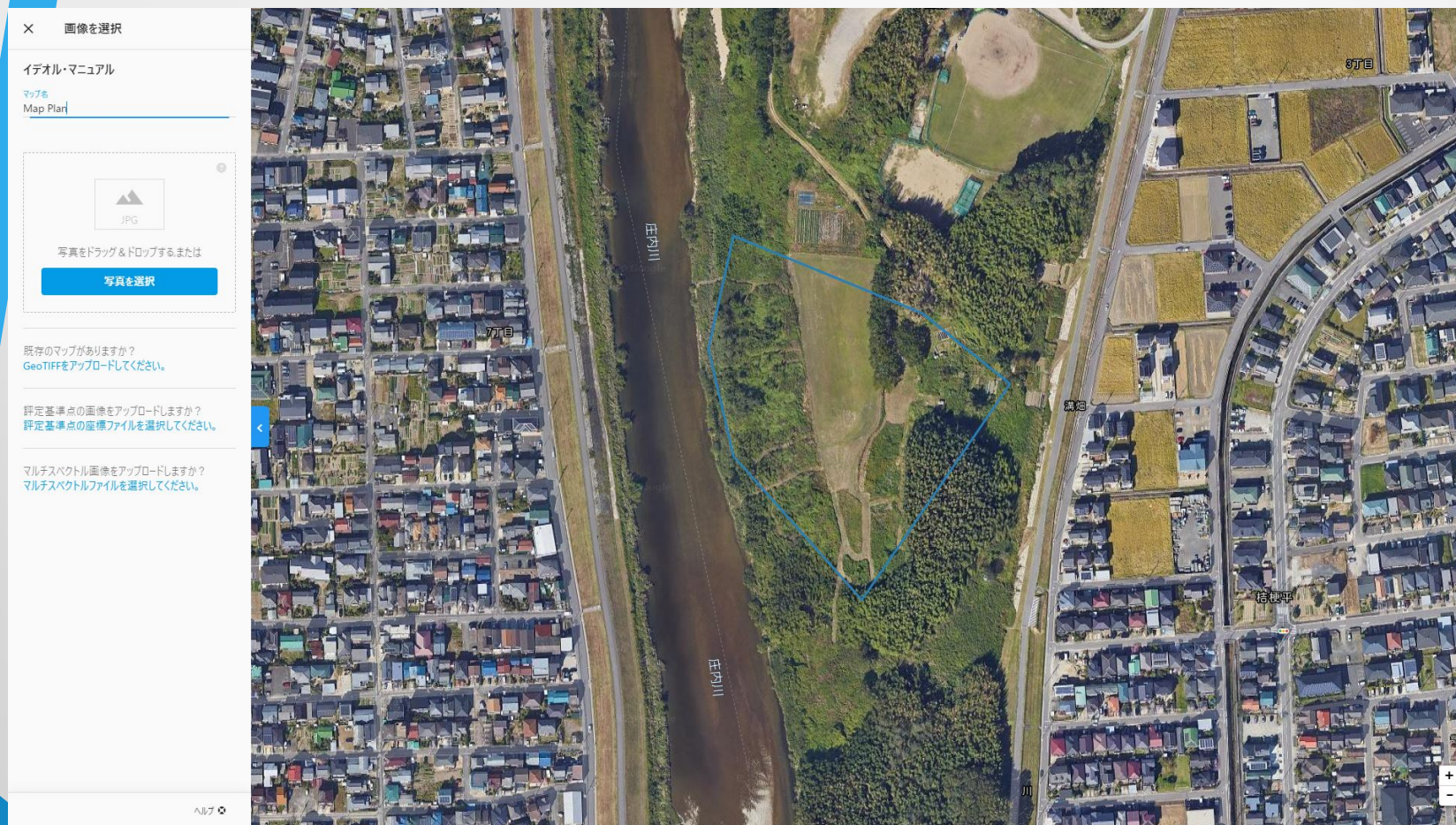
iPadからサーバーに転送が実施されている表示。

PCで画像をアップロード1



プロジェクトをクリックした後に画面上部の「アップロード」をクリックし、アップロード対象が左側に提示されるので選択する。

PCで画像をアップロード2



左側のウィンドウ内に画像ファイルをドロップするか、エクスプローラでアップロードするファイル群を指定する。

PCで画像をアップロード3

× 画像をアップロード

イデオロ・マニュアル

マップ
Map Plan |

2020/05/07

マップタイプ

Terrain 構造

建物、建設現場、権限設備向け。推定処理時間は1 - 5 時間s。

画像数205) 追加

GCP >

詳細設定 >

アップロードした画像数 (1.4 GB)

ヘルプ

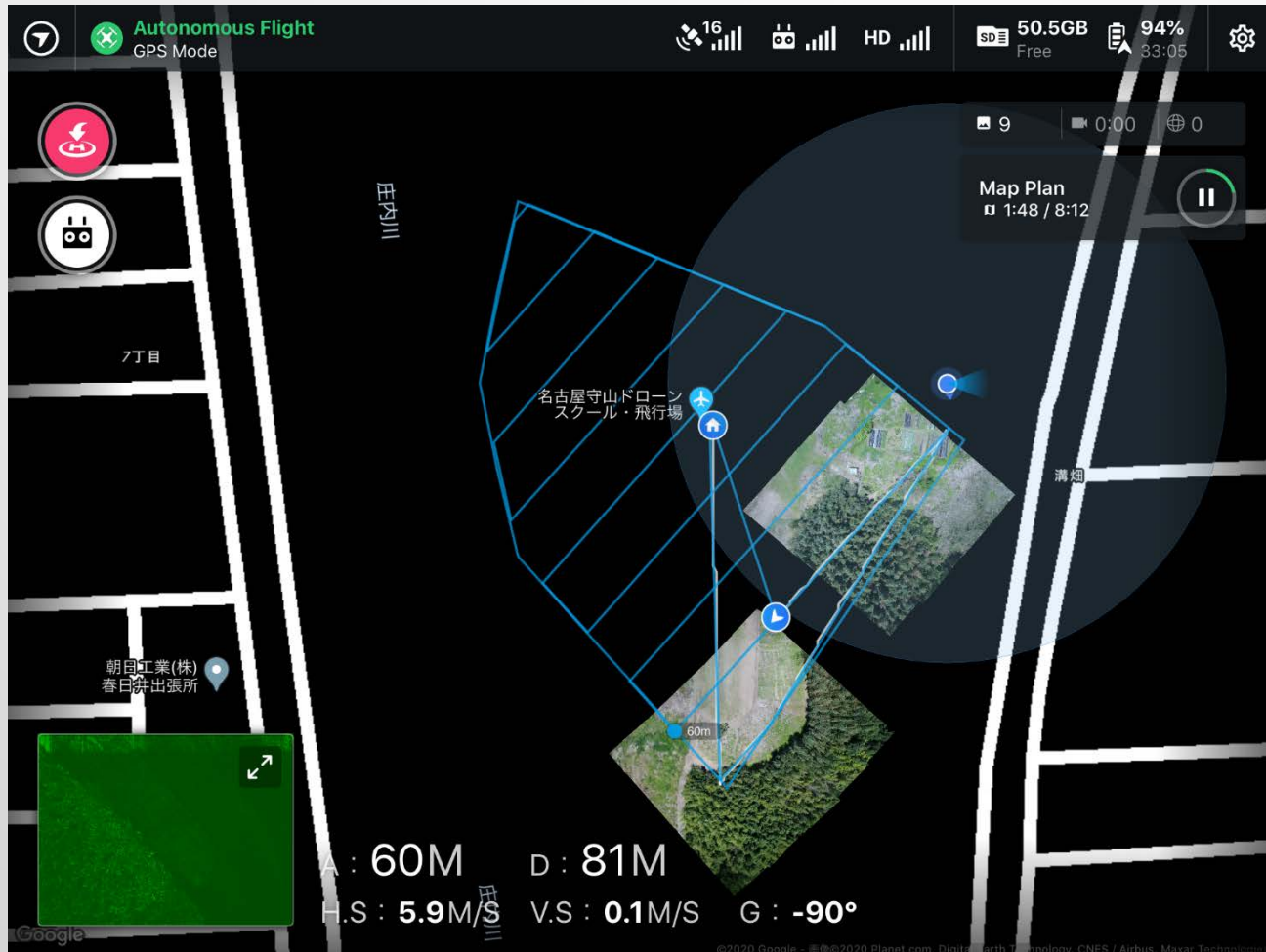
左下の「アップロード画像数」ボタンをクリックするとアップロードが始まる。

PCで画像をアップロード4



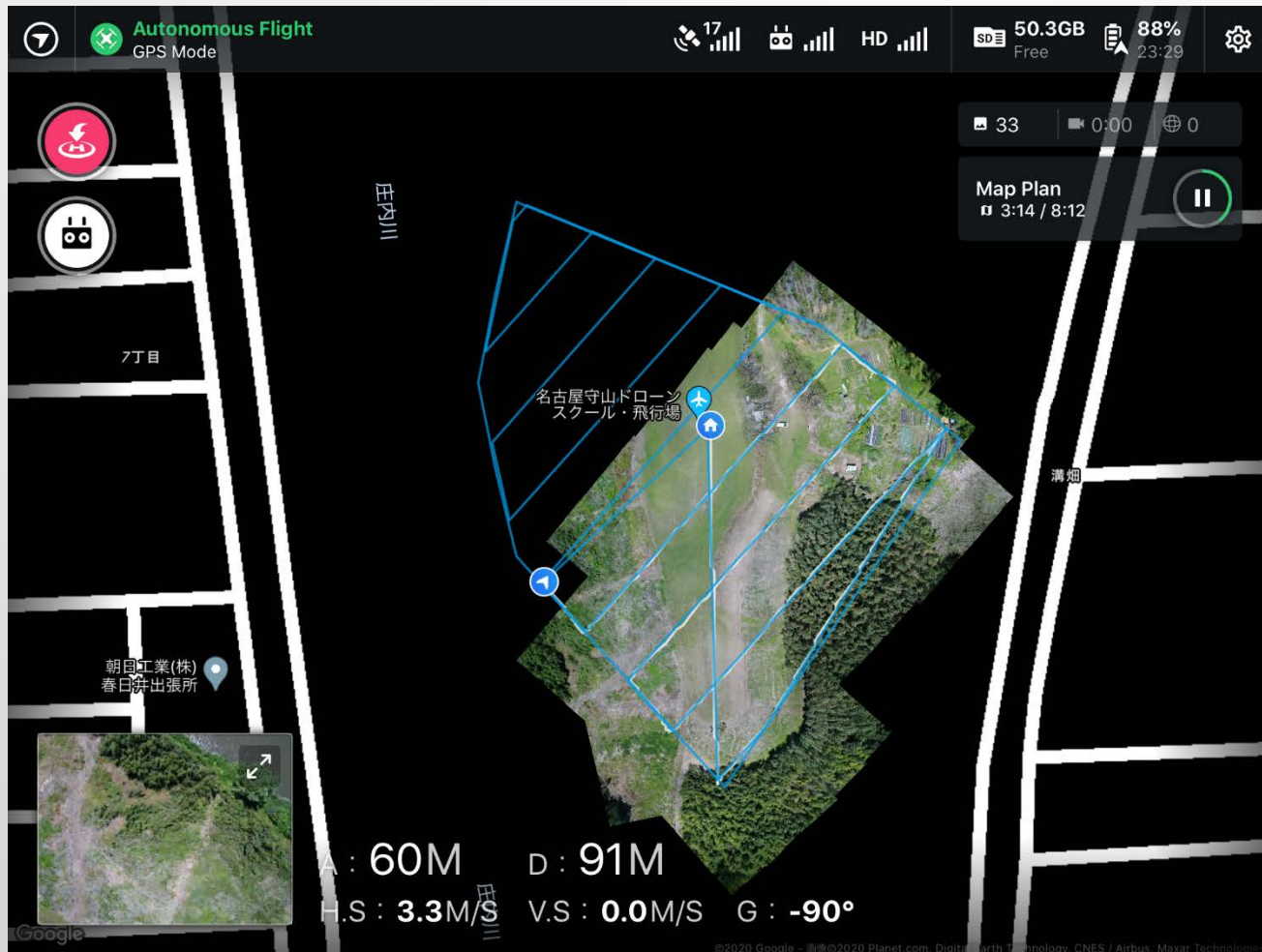
アップロード完了すると表示され、プロジェクト画面に戻ることが可能。

Live Mapの例①



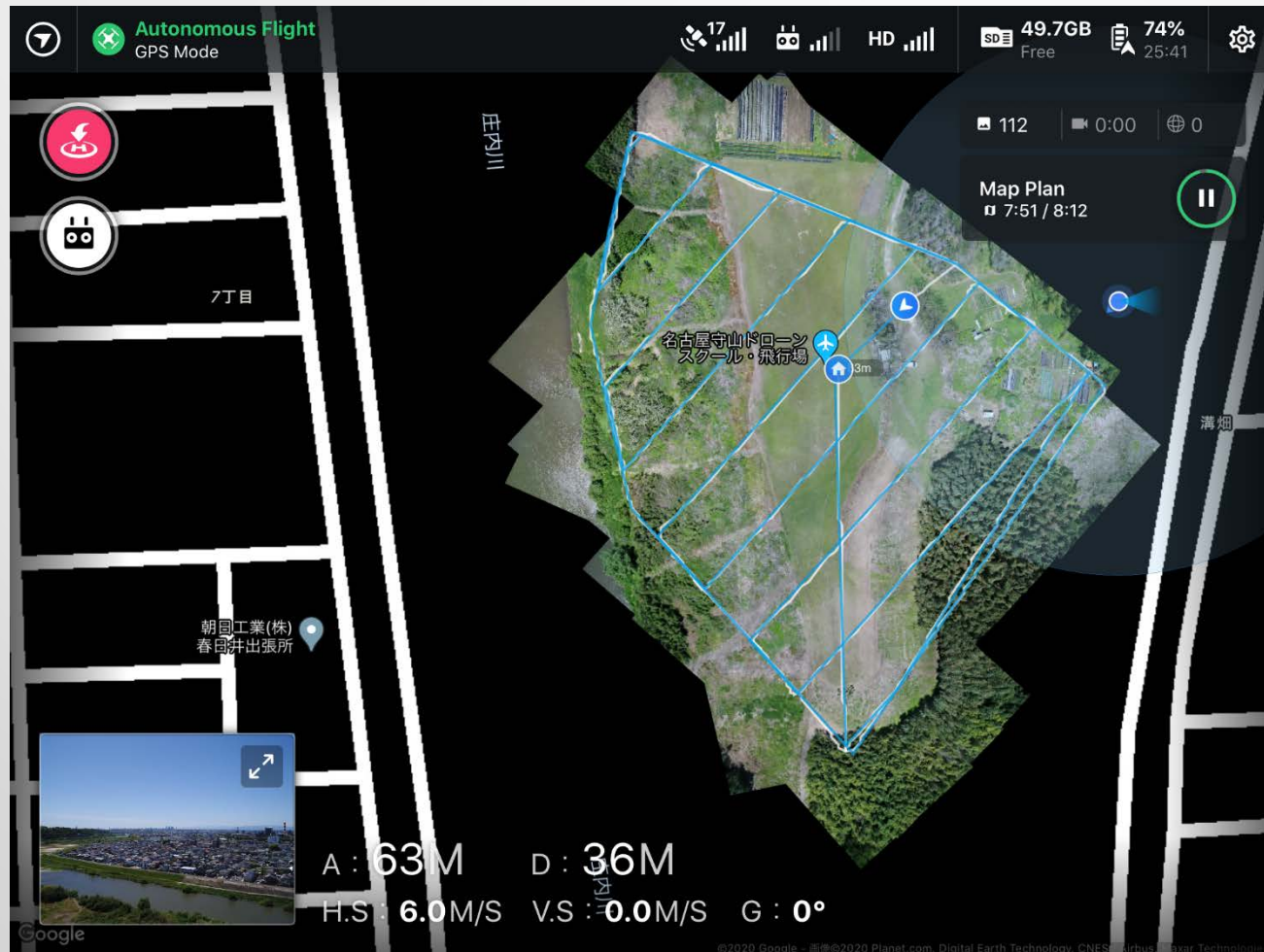
Live Mapでは撮影が進むに従い、iPad上にも表示が進む。

Live Mapの例②



Live Mapでは撮影が進むに従い、iPad上に合成画像が作成される。

Live Mapの例③



Live Mapは撮影が終了する時には、略完成しているが、この後エリアに合わせた形に処理される。